

環境委員会

委員一覧 (20名)

委員長	郡司	彰 (民主)	関口	昌一 (自民)	島田	智哉子 (民主)
理事	大野	つや子 (自民)	竹中	平蔵 (自民)	林	久美子 (民主)
理事	真鍋	賢二 (自民)	中川	雅治 (自民)	福山	哲郎 (民主)
理事	谷	博之 (民主)	西田	吉宏 (自民)	高野	博師 (公明)
理事	魚住	裕一郎 (公明)	矢野	哲朗 (自民)	鱒淵	洋子 (公明)
	阿部	正俊 (自民)	大石	正光 (民主)	市田	忠義 (共産)
	狩野	安 (自民)	芝	博一 (民主)		(16. 10. 26 現在)

(1) 審議概観

第161回国会において、本委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

10月26日、環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。小池環境大臣より、環境行政に関する発言があった。

10月28日、環境及び公害問題に関する調査を議題とし、質疑を行った。

主な質疑は、台風等による災害廃棄物処理への取組状況、地球温暖化対策の現状と今後の取組、「環境教育推進法」に基づく環境教育の具体的ビジョン、最近頻発するクマによる被害状況と対策、中絶胎児の取扱いに関する環境省の見解、環境ホルモン対策についての環境省の見解と今後の取組方針、子どもに対する環境リスク対策等である。

11月18日、「家電リサイクル、干潟の保全対策、野生動植物の輸入検疫等の実施状況に関する実情調査」のため、千葉県を訪れ、(株)ハイパーサイクルシステムズ(家電リサイクル施設)、三番瀬、成田国際空港(税関、動物検疫所、植物防疫所)を視察した。

11月25日、環境及び公害問題に関する調査を議題とし、質疑を行った。

主な質疑は、災害廃棄物の処理に当たっての支援体制、環境税創設に向けた今後の見通しと環境大臣の決意、産業廃棄物の発生抑制に関する具体的強化策、防衛施設庁による辺野古沖でのボーリング調査の実施状況、「国連持続可能な開発のための教育の10年」に向けた環境教育の推進、ヒートアイランド対策に関する環境省並びに文部科学省の取組、自動車排出ガスによる健康被害に対する救済制度の創設等である。

(2) 委員会経過

○平成16年10月26日（火）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○平成16年10月28日（木）（第2回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 台風等災害による廃棄物の処理に関する件、地球温暖化対策に関する件、学校現場における環境教育に関する件、最近のクマによる被害に関する件、中絶胎児の取扱いに関する件、環境ホルモン対策に関する件、子どもの環境リスク対策に関する件等について小池環境大臣、高野環境副大臣、能勢環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕中川雅治君（自民）、林久美子君（民主）、島田智哉子君（民主）、加藤修一君（公明）、市田忠義君（共産）

○平成16年11月25日（木）（第3回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 災害廃棄物の処理に関する件、地球温暖化対策に関する件、産業廃棄物の発生抑制と不法投棄に関する件、普天間基地移設先の環境保全に関する件、「国連持続可能な開発のための教育の十年」と環境教育に関する件、大気汚染による健康被害の救済に関する件等について小池環境大臣、川村参議院事務総長、黒澤国立国会図書館長、高野環境副大臣、能勢環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕大野つや子君（自民）、芝博一君（民主）、福山哲郎君（民主）、鰐淵洋子君（公明）、市田忠義君（共産）

○平成16年12月2日（木）（第4回）

- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。